

頻発する太陽光発電所のケーブル盗難、物理的・視覚的に盗難を防ぎます

昨今、太陽光発電所におけるケーブル盗難が多発しており、保険適用外となるほどに被害が増え続けています。ケーブルの盗難は、その物質的な損害だけでなく、材料不足・高騰が続き復旧まで時間がかかり、売電収入が得られない、という被害も深刻となっています。

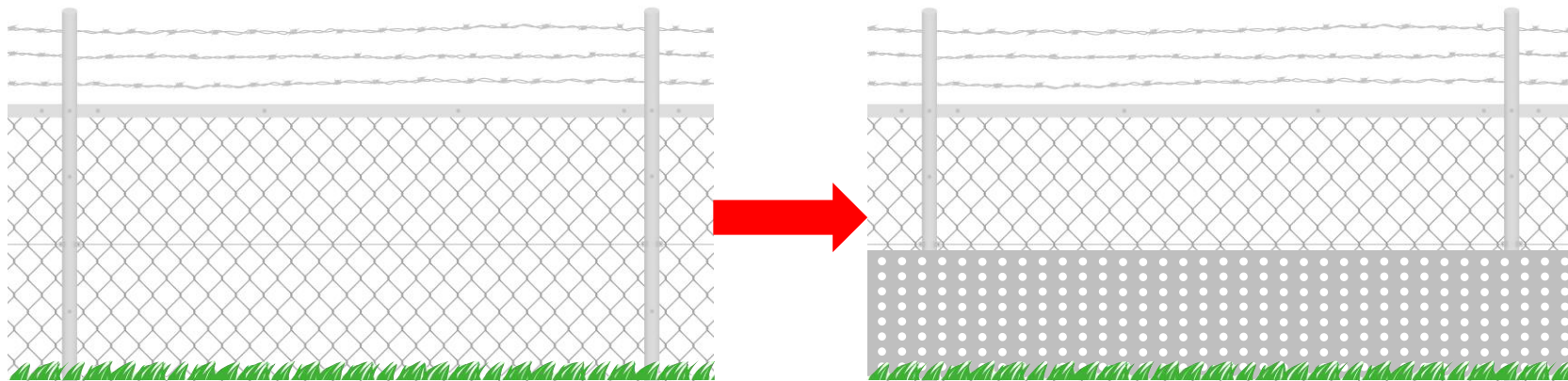
太陽光発電所事業者は、防犯カメラ・赤外線センサーの設置や警備会社との契約など防犯対策を行っていますが、“抜け道”情報が拡がりその効果は薄くなってきています。

ケーブル盗難のほとんどは、フェンスの下部を切断し、そこからケーブルを根こそぎ抜き盗る方法です。

今回ご提案させていただく防犯対策は、既設フェンスの下部にパネルを設置し、フェンスの切断、ケーブルの抜き盗りを防ぐものです。

非常に単純な対策方法ではありますが、盗難団から「やりにくい」という印象を与え、物質的・視覚的にも効果が期待できます。

既設フェンスにパネルを取り付けるだけ



栃木県2Mの太陽光発電所への導入事例

発電所のフェンス外周前面にパネル取り付け



角面も丁寧に取り付け



実際に盗難に遭われた方はもちろん、いつ盗難に遭うかご不安なお客様、ぜひご検討ください